

- 2) 林 孝文：頭頸部の超音波診断法・頸部リンパ節の描出法および読影法の習得。NPO 法人日本歯科放射線学会教育研修会第 16 回実技研修会，東京，2011 年 8 月 7 日。
- 3) 林 孝文：歯科画像診断と医療被曝。長岡歯科医師会医療安全セミナー，長岡市，2011 年 9 月 8 日，2011。
- 4) 林 孝文：歯科における画像診断と医療被曝。新潟大学歯学部同窓会近畿支部講演会，大阪市，2011 年 9 月 18 日。
- 5) 勝良剛詞，齊藤美紀子，林 孝文，中村太保：組織内照射で治療した舌癌 T4 症例の長期経過。NPO 法人日本歯科放射線学会第 25 回放射線治療懇話会。新潟市，2011 年 9 月 30 日。
- 6) 西山秀昌：これからの顎関節症の診断・治療に有用な MRI の基礎知識。日本顎関節学会・第 30 回学術講演会，横浜市，2011 年 10 月 16 日。
- 7) 勝良剛詞。造血幹細胞移植治療における Oral Care の意義と歯科医療の役割。第 22 回 新潟同種造血幹細胞移植研究会，新潟市，2012 年 3 月 2 日。

【受賞】

- 1) 星名由紀子，林 孝文，新垣 晋，齊藤 力：舌癌症例における口底部の介在リンパ節転移の画像診断学的検討。日本口腔腫瘍学会第 13 回学会賞，2011 年 1 月 27 日。

摂食・嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠：摂食・嚥下機能障害を伴う疾患の口腔ケア，要介護高齢者（認知症を含む）の口腔ケア，機能向上のための口腔ケア（口腔機能リハビリテーション）。口腔ケアガイド（日本口腔ケア学会学術委員会編），印刷中，文光堂，東京，2011。
- 2) 井上 誠：口腔環境と摂食・嚥下障害。今日の治療指針，1297-1298，医学書院，2012。
- 3) 井上 誠：災害時における食と福祉（新潟大学地域連携フードサイエンスセンター編），218-225，光琳，東京，2011。

【論文】

- 1) Tsukano H, Taniguchi H, Hori K, Tsujimura T, Nakamura Y, Inoue M: Effects of pharyngeal electrical stimulation on the voluntary swallow in humans. *Physiology and behavior*, 106(2): 218-223, 2012.
- 2) Yano J, Kumakura I, Hori K, Tamine KI, Ono T:

- Differences in biomechanical features of tongue pressure production between articulation and swallow. *J Oral Rehabil.* 39(2): 118-125, 2012.
- 3) Zhang M, Hasegawa Y, Sakagami J, Ono T, Hori K, Maeda Y, Chen YJ: Effects of unilateral jaw clenching on cerebral/systemic circulation and related autonomic nerve activity. *Physiology and behavior*, 105(2): 292-297, 2012.
 - 4) Tsujimura T, Yamada A, Nakamura Y, Fukuhara T, Yamamura K, Inoue M: The digastric muscle is less involved in pharyngeal swallowing in rabbits. *Dysphagia*, 27 (2): 271-276, 2012.
 - 5) Fukuhara T, Tsujimura T, Kajii Y, Yamamura K, Inoue M: Effects of electrical stimulation of the superior laryngeal nerve on the jaw-opening reflex. *Brain Res.* 1391: 44-53, 2011.
 - 6) Tsujimura T, Shinoda M, Honda K, Hitomi S, Kiyomoto M, Matsuura S, Katagiri A, Tsuji K, Inoue M, Shiga Y, Iwata K.: Organization of pERK-immunoreactive cells in trigeminal spinal nucleus caudalis, upper cervical cord, NTS and Pa5 following capsaicin injection into masticatory and swallowing-related muscles in rats. *Brain Res.* 1417: 45-54, 2011.
 - 7) Hori K, Tamine K, Barbezat C, Maeda Y, Yamori M, Muller F, Ono T: Influence of Chin-down Posture on Tongue Pressure during Dry Swallow and Bolus Swallows in Healthy Subjects. *Dysphagia*, 26(3): 238-245, 2011.
 - 8) 伊藤加代子，松木貴彦，井上 誠：ホルモン補充療法の口腔領域における効果に関する文献レビュー，日本女性医学学会雑誌 20 (1), in press
 - 9) 伊藤加代子：口腔乾燥症に対するコメディカルの役割。更年期と加齢のヘルスケア学会誌，in press
 - 10) 児玉泰光，谷口裕重，永田昌毅，池田順行，大貫尚志，山田瑛子，星名秀行，井上 誠，高木律男：口腔癌患者に対する PEG 造設症例の臨床的検討。日本口腔腫瘍学会雑誌，in press，2012。
 - 11) 伊藤加代子，井上 誠，深井嘉代子，西井久枝，松本哲朗：過活動膀胱を中心とした高齢者における健康調査。 *Progress in Medicine*, 31 (6): 1609-1618 頁，2011。
 - 12) 西井久枝，井上 誠，伊藤加代子，深井喜代子，酒本貞昭，伊東健治，松下全巳，芳賀一徳，松本哲朗：過活動膀胱患者において副作用の少ないイミダフェナシンはソリフェナシンと同等の有効性を示す。 *泌尿器外科*, 24 (9) : 1489-1500 頁，2011。
 - 13) 渡邊 裕，枝広あや子，伊藤加代子，岩佐康行，渡

部芳彦, 平野浩彦, 福泉隆喜, 飯田良平, 戸原 玄, 野原幹司, 横山正明, 大原里子, 北原 稔, 吉田光由, 柏崎晴彦, 斎藤京子, 菊谷 武, 植田耕一郎, 小坂 健, 大瀨修一, 池添志乃, 田中弥生, 武藤正樹, 武井典子, 池主憲夫, 外木守雄, 山根源之, 片倉 朗: 介護予防の複合プログラムの効果の特徴づける評価項目の検討-口腔機能向上プログラムの評価項目について-, 老年歯科医学, 26 (3):327-338 頁, 2011.

- 14) ノキ田健史, 中村由紀, 井上 誠: 前下小脳動脈動脈瘤術後に嚥下障害を併発した若年者に対しリハビリテーションを行った1例. 新潟歯学会誌, 41 (2): 45-48 頁, 2011.
- 15) 小玉直樹, 児玉泰光, 田中英一郎, 小菅健裕, 谷口裕重, 高木律男: 末期口腔癌皮膚転移症例に対する Mohs paste の使用経験. 日口外誌, 57 (10): 558-562, 2011.
- 16) 北田泰之, 矢作理花, 奥田・赤羽和久: ヒト随意性嚥下に対する咽頭喉頭部の非刺激唾液による刺激の効果. 日本味と匂学会誌, 18 (3): 331-334 頁, 2011
- 17) 川本健介, 井上拓哉, 成松花弥, 中村由紀, 井上 誠, 矢作理花, 北田泰之: ヒトの反射嚥下を誘発する末梢の化学刺激とその中枢調節機構. 日本味と匂学会誌, 18 (3): 335-338 頁, 2011.

【商業誌】

- 1) 井上 誠: 高齢者の味覚, 摂食機能の低下とその対策. 食品と容器, 第53巻1号, 22-29 頁, 2012.
- 2) 辻村恭憲, 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションの最前線. クインテッセンス, 2012年1月号 103-114 頁, 2012
- 3) 井上 誠: 咀嚼のメカニズムと口腔ケアの実践. ヘルスケアレストラン, 2011年10月号 20-21 頁, 2011.
- 4) 井上 誠: the Report 「にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会」, クインテッセンス, 2011年9月号 215-216 頁, 2011.
- 5) 井上 誠: Dr. イノウエの丸ワカリ! 「食べる」のメカニズム. デンタルハイジーン, 2011年4月号~2011年10月号, 2011.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者): 嚥下中枢の三叉神経支配を検証する. 平成23年度文部科学省科学研究費補助金研究 挑戦的萌芽研究, 課題番号 23659982, 2011.
- 2) 井上 誠 (分担研究者): 在宅高齢者に対するピエゾセンサーを用いた遠隔嚥下機能評価訓練システム

の開発. 平成23年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C) 課題番号 22592145, 2011.

- 3) 井上 誠 (研究代表者): 咽頭刺激は食べる力をアップさせるか? 浦上食品・食文化振興財団研究助成, 2011.
- 4) 井上 誠 (研究代表者): 舌清掃の味覚改善効果に関する研究. 新潟県福祉保健部健康対策課歯科保健係 受託研究, 2011.
- 5) 井上 誠 (研究代表者): 摂食・嚥下障害者用介護用品・食品等の開発. にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会 共同研究, 2011.
- 6) 井上 誠 (研究代表者): 使いやすい紙容器の要素技術の検証と開発. 日本紙パック株式会社 共同研究, 2011.
- 7) 堀 一浩 (研究代表者): 舌圧が食塊移送に与える影響について~補綴装置を用いた食塊移送のコントロール~ 平成23年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 22791872, 2011.
- 8) 堀 一浩 (研究代表者): えん下困難者用食品の摂取方法が嚥下機能に与える影響. 平成23年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2011.
- 9) 堀 一浩 (研究代表者): 舌圧センサシートを用いた嚥下機能評価アルゴリズムの構築. JST 研究成果最適展開支援事業 A-STEP 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラムフィージビリティスタディ 【FS】 ステージ 探索タイプ, 2011.
- 10) 谷口裕重 (研究代表者): 嚥下惹起をもたらす物性条件. 平成23年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 23792505, 2011.
- 11) 伊藤加代子 (研究代表者): 女性ホルモン減少は, 口腔乾燥症の一因となりうるか? 平成23年度文部科学省科学研究費補助金 若手 (B), 課題番号 22792109, 2011.
- 12) 伊藤加代子 (研究分担者): 高齢者のドライマウスの実態調査及び標準的ケア指針の作成に関する研究. 平成23年度厚生労働科学研究費補助金 (長寿科学総合研究事業), 2011.
- 13) 伊藤加代子 (研究協力者): 口腔機能に応じた保健指導と肥満抑制やメタボリックシンドローム改善との関係についての研究. 平成23年度厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業), 2011.
- 14) 伊藤加代子 (研究協力者): 口腔保健と QOL の向上に関する総合的研究. 平成23年度厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業), 2011.
- 15) 梶井友佳 (研究代表者): 発達期における嚥下誘発機構の解明-水刺激や味覚刺激は発達期の嚥下誘発

に有効か。平成 23 年度文部科学省科学研究費補助金研究 若手研究 (B), 課題番号 22792044, 2011.

- 16) 辻村恭憲 (研究代表者): 咀嚼時の嚥下抑制機構を解明する. 平成 23 年度文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B), 課題番号 23792507, 2011.
- 17) 辻村恭憲 (研究代表者): ラットにおける皮質嚥下領域の同定. 平成 23 年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2011.
- 18) 中村由紀 (研究代表者): 嚥下調節機能における摂食関連ペプチドの役割とその発達に関する研究. 平成 23 年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 23792424, 2011.
- 19) 矢作理花 (研究代表者): 随意嚥下および反射性嚥下に対する味覚刺激効果. 平成 23 年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 23792508, 2011.
- 20) 矢作理花 (研究代表者): 反射性嚥下における咽喉頭内末梢性感覚入力の効果. 平成 23 年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2011.
- 21) 船山さおり (研究代表者): 自発性異常味覚の評価法としての主観的および客観的指標の臨床応用に関する研究. 平成 22 年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 22792111, 2010.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 井上 誠: 摂食・嚥下機能とその障害. 首届吞咽障碍康复进展班, 北京, 2011 年 11 月 5-6 日.
- 2) 井上 誠: 在日本的由齿科摄食吞咽障碍研究的进展和其意义, 中华口腔医学会, 上海, 2011 年 10 月 28 日.
- 3) 井上 誠: 高齢者の口腔乾燥感と服薬との関係. 第 18 回日本排尿機能学会ランチョンセミナー, ホテルフジタ福井, 福井, 2011 年 9 月 17 日.
- 4) 井上 誠: 「咀嚼」から「統合された咀嚼・嚥下」機能の理解のために. 日本補綴歯科学会第 120 回記念学術大会, 広島, 2011 年 5 月 22 日.
- 5) Makoto Inoue: Clinical approaches to dysphagia and new challenges. The 2nd dysphagia summit forum, Guangzhou, China, 2011 年 5 月 21 日.
- 6) 堀 一浩: ゲル試料濃度が押しつぶし摂取時の嚥下動態に与える影響. 平成 23 年度咀嚼・嚥下カテゴリーシンポジウム「咀嚼を末梢から科学する」, 大阪, 2012 年 1 月 23 日
- 7) 堀 一浩: 咀嚼機能検査の現状. 日本補綴歯科学会第 120 回記念学術大会, 広島, 2011 年 5 月 22 日
- 8) 堀 一浩: 嚥下機能定量化としての舌圧測定. 第 20 回ハイドロコロイドセミナー, 大阪, 2011 年 5 月

17 日.

- 9) 堀 一浩: 舌圧計測を用いた客観評価法の開発. 2011 年第 3 回にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟, 2011 年 12 月 2 日.
- 10) 伊藤加代子: 男女の性差を考慮した歯科医療について, 性差に注目したヘルスプロモーションの展開, 保健・医療専門職と市民のためのシンポジウム, 新潟, 2012 年 3 月 3 日.
- 11) 伊藤加代子: 口腔乾燥症に対するコメディカルの役割. 第 10 回更年期と加齢のヘルスケア学会ワークショップ, 東京, 2011 年 11 月 6 日.
- 12) 伊藤加代子: HRT がオーラルヘルスに及ぼす影響. 第 7 回更年期と加齢のヘルスケア学会九州セミナー, 福岡市, 2011 年 7 月 30 日.
- 13) 伊藤加代子: 高齢者における口腔リハビリテーションの有用性. 老化促進マウス研究会シンポジウム, 岐阜市, 2011 年 7 月 9 日.
- 14) 辻村恭憲: 新潟大学医歯学総合病院における摂食・嚥下リハの取り組み. 2011 年第 1 回にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟, 2011 年 5 月 14 日.
- 15) 中村由紀: 嚥下機能の定量化への挑戦. 2011 年第 3 回にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟, 2011 年 12 月 2 日.

【学会発表】

- 1) Hayashi H, Hori K, Yokoyama S, Yahagi R, Taniguchi H, Inoue M, Tamine K, Ono T: Ingestion of the gel agent with tongue squeezing. Dysphagia Research Society 20th Annual Meeting, Toronto, 2012.3.8-10.
- 2) Tsujimura T, Tsuji K, Iwata K, Inoue M: Differential involvements of two cortical masticatory areas in modulation of superior laryngeal nerve-evoked swallows in rats. Dysphagia Research Society 19th Annual Meeting, Toronto, 2012.3.8-10.
- 3) Inoue M: Effects of pharyngeal stimulation on swallowing performance in humans. International Joint Symposium on Oral Science, Indonesia, 2011.12.10.
- 4) Inoue M: Pharyngeal electrical stimulation affects the voluntary swallowing in healthy humans. BioMouth 2011, New Zealand, 2011.11.28.
- 5) Hori K, Ono T, Tamine K, Yahagi R, Taniguchi H, Inoue M: Tongue pressure measurement during swallowing using sensor sheet system. BioMouth 2011, New Zealand, 2011.11.28.

- 6) Taniguchi H, Hori K, Inoue M: Multilateral evaluation of swallowing boluses with different consistencies. *BioMouth* 2011, New Zealand, 2011.11.28.
- 7) Fukuhara T, Tsujimura T, Yamada A, Kajii Y, Inoue M: Effects of the superior laryngeal nerve stimulation on the jaw-opening reflex in rabbits. *Society for Neuroscience, Washington DC*, 2011.11.13-16.
- 8) Tsujimura T, Fukuhara T, Yamada A, Nakamura Y, Kajii Y, Iwata K, Inoue M: Differential involvement of two cortical masticatory areas in SLN-evoked swallows in rats. *Society for Neuroscience, Washington DC*, 2011.11.13-16.
- 9) Nishii H, Ito K, Inoue M, Fukai K, Matsumoto T: Overactive bladder patients can have dry mouth and constipation before treatment with anticholinergic agents, *The 6th Pan-pacific Continence Society Meeting, Taipei, Taiwan*, 2011.9.23-24
- 10) Nishii H, Inoue M, Ito K, Fukai K, Sadaaki S, Ito K, Matsushita M, Haga K, Matsumoto T: Imidafenacin, a novel anticholinergic agent with low side effects, shows equivalent efficacy to Solifenacin in overactive bladder patients - GAP (Global Assessment Study of Anticholinergics on Efficacy and Tolerability for Patients with OAB) study in Japan, *41th International Continence Society, Glasgow, UK*, 2011.8.29-9.2.
- 11) Kakudate N, Kakinoki Y, Muramatsu T, Endoh M, Satomura K, Koseki T, Sato Y, Ito K: Risk factors associated with dry mouth in dependent Japanese elderly, *AADR, San Diego, USA*, 2011.3.16-19
- 12) 林 宏和, 堀 一浩, 矢作理花, 谷口裕重, 井上 誠: ゲル試料の押しつぶし摂取時嚥下動態. *新潟歯学会第2回例会, 新潟*, 2011年11月12日, *新潟歯学会誌* 41 (2) : 70-71頁, 2011.
- 13) 伊藤加代子, 井上 誠, 西井久枝, 深井喜代子, 酒本貞昭, 伊東健治, 松下全巳, 芳賀一徳, 松本哲朗: 更年期以降の女性における過活動膀胱治療薬服用による口腔乾燥感. *第26回日本女性医学学会学術集会, 神戸*, 2011年11月12-13日, *日本女性医学学会雑誌* 19 (Suppl.) : 138頁, 2011.
- 14) 谷口裕重, 堀 一浩, 中村由紀, 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションにおける筋電図評価. *日本顎口腔機能学会第47回学術大会, 神戸*, 2011年10月22-23日.
- 15) 林 宏和, 堀 一浩, 横山須美子, 矢作理花, 谷口裕重, 田峰謙一, 小野高裕, 井上 誠: ゲル試料押しつぶし摂取時嚥下動態. *日本顎口腔機能学会第47回学術大会, 神戸*, 2011年10月22-23日.
- 16) 覚嶋慶子, 林 豊彦, 前田義信, 渡辺哲也, 道見 登, 谷口裕重, 井上 誠: 嚥下機能評価システムSFN/3Aを用いた錠剤服用時の嚥下動態の解析顎機能学会. *日本顎口腔機能学会第47回学術大会, 神戸*, 2011年10月22-23日.
- 17) 北田泰之, 矢作理花, 奥田・赤羽和久: ヒト随意性嚥下に対する咽頭喉頭部の非刺激唾液による刺激の効果. *第45回日本味と匂学会学術大会, 金沢*, 2011年10月5-7日, *日本味と匂学会誌*, 18 (3) : 331-334頁, 2011.
- 18) 川本健介, 井上拓哉, 成松花弥, 中村由紀, 井上 誠, 矢作 理花, 北田泰之: ヒトの反射嚥下を誘発する末梢の化学刺激とその中枢調節機構. *第45回日本味と匂学会学術大会, 金沢*, 2011年10月5-7日, *日本味と匂学会誌*, 18 (3) : 335-338頁, 2011.
- 19) 辻村恭憲, 福原孝子, 山田亜紀, 中村由紀, 岩田幸一, 井上 誠: 上喉頭神経誘発嚥下に対する2つの皮質咀嚼野刺激の異なる変調効果. *第53回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜*, 2011年9月30日-10月2日, *Journal Of Oral Biosciences* 53 (Suppl.) : 144頁, 2011.
- 20) 福原孝子, 梶井友佳, 辻村恭憲, 山田亜紀, 井上 誠: 上喉頭神経への電気刺激時にみられる開口反射の変調と自律神経活動との関係. *第53回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜*, 2011年9月30日-10月2日, *Journal Of Oral Biosciences* 53 (Suppl.) : 147頁, 2011.
- 21) 成松花弥, 井上拓哉, 川本健介, 中村由紀, 井上 誠, 矢作理花, 北田泰之: ヒト咽頭部への感覚刺激がもたらす反射性嚥下とその個人差. *第53回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜*, 2011年9月30日-10月2日, *Journal Of Oral Biosciences* 53 (Suppl.) : 168頁, 2011.
- 22) 梶井友佳, 福原孝子, 中村由紀, 辻村恭憲, 井上 誠: 上喉頭神経電気刺激により誘発される嚥下反射の発育変化. *第53回歯科基礎医学会学術大会, 岐阜*, 2011年9月30日-10月2日, *Journal Of Oral Biosciences* 53 (Suppl.) : 178頁, 2011.
- 23) 平林友香, 隅田好美, 梶井友佳, 伊藤加代子, 井上 誠: 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者への精神的支援—歯科衛生士・社会福祉士の資格を活かして—. *日本歯科衛生学会第6回学術大会, 新潟*, 2011年9月24日, *日本歯科衛生学会雑誌*, 6 (1) : 101頁, 2011.
- 24) 塚田しげみ, 柴田佐都子, 梶井友佳, 中村由紀, 辻

- 村恭憲, 谷口裕重, 堀 一浩, Roxana Stegaroiu, 井上 誠, 大内章嗣: 入院患者の歯科介入の必要性を判断するためのスクリーニング用紙の開発. 日本歯科衛生学会第6回学術大会, 新潟, 2011年9月24日, 日本歯科衛生士学会雑誌, 6(1):135頁, 2011.
- 25) 伊藤加代子, 井上 誠, 西井久枝, 深井喜代子, 酒本貞昭, 伊東健治, 松下全巳, 芳賀一徳, 松本哲朗: 過活動膀胱治療薬服用による口腔乾燥感に関する検討, 第21回日本口腔粘膜学会総会学術集会, 鹿児島, 2011年9月24-25日, 日本口腔粘膜学会雑誌, 17(2):93頁, 2011.
- 26) 西井久枝, 井上 誠, 伊藤加代子, 深井喜代子, 酒本貞昭, 伊東健治, 松下全巳, 芳賀一徳, 松本哲朗: 男女別OAB患者における抗コリン薬の有効性, 安全性に関する評価(GAP Studyの層別解析より). 第18回日本排尿機能学会, 福井, 2011年9月16-18日.
- 27) 隅田好美, 梶井友佳, 伊藤加代子, 井上 誠: 歯科衛生士と社会福祉士の資格をもつ大学院生への教育に関する事例報告. 第30回日本歯科医学教育学会総会, 2011年7月15-17日, 東京, 日本歯科医学教育学会学術大会プログラム抄録集30回, 113頁, 2011.
- 28) 谷口裕重, 堀 一浩, 梶井友佳, 辻村恭憲, 井上 誠: 神経難病患者における嚥下時の食塊動態の特徴について. 日本老年歯科医学会第22回学術大会, 東京, 2011年6月16-17日, 老年歯科医学, 26(2):119-120頁, 2011.
- 29) 伊藤加代子, 井上 誠, 西井久枝, 深井喜代子, 松本哲朗: 過活動膀胱患者における口腔乾燥症状に関する実態調査. 日本老年歯科医学会第22回学術大会, 東京, 2011年6月16-17日, 老年歯科医学, 26(2):178-179頁, 2011.
- 30) 渡邊 裕, 武井典子, 植田耕一郎, 菊谷 武, 福泉隆喜, 北原 稔, 戸原 玄, 平野浩彦, 渡部芳彦, 吉田光由, 岩佐康行, 飯田良平, 柏崎晴彦, 伊藤加代子, 野原幹司, 山根源之: 介護予防における口腔機能向上サービスの推進に関する研究-介護予防における包括サービスの効果について-, 日本老年歯科医学会第22回学術大会, 東京, 2011年6月16-17日, 老年歯科医学, 26(2):102-103頁, 2011.
- 31) 堀 一浩, 谷口裕重, 矢作理花, 井上 誠: 舌腫瘍患者における嚥下時舌骨移動評価. 第28回日本顎顔面補綴学会 2011年6月3-4日, 富山, 顎顔面補綴34(2):96, 2011.
- 32) 伊谷康弘, 小野高裕, 城下尚子, 阪上 稔, 山本雅章, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中 里, 加登 聡, 香川須美子, 深津雄己, 來田百代, 高阪貴之, 藤尾隆史, 堀 一浩, 前田芳信: 口腔腫瘍術後患者の術後1年間におけるQOLの変化. 第28回日本顎顔面補綴学会 2011年6月3-4日, 富山, 顎顔面補綴34(2):92, 2011.
- 33) 井上拓哉, 成松花弥, 林 宏和, 谷口裕重, 堀 一浩, 井上 誠: 咽頭電気刺激がもたらす嚥下反射誘発の変調効果. 日本顎口腔機能学会, 仙台, 2011年5月28-29日.
- 34) 西井久枝, 井上 誠, 伊藤加代子, 深井喜代子, 酒本貞昭, 伊東健治, 松下全巳, 芳賀一徳, 松本哲朗: 過活動膀胱患者における抗コリン薬の有効性, 安全性に関する評価(GAP Study). 第24回日本老年泌尿器科学会, 名古屋市, 2011年5月28-29日.
- 35) 塩沢恵美, 谷口裕重, 林 宏和, 会田生也, 井上 誠: 餅食品咀嚼時の関連筋活動および食塊動態の特徴. 第44回新潟歯学会総会, 新潟, 2011年4月16日, 新潟歯学会誌 41(1):48頁, 2011.
- 36) 児玉泰光, 永田昌毅, 藤田 一, 池田順行, 福田純一, 安島久雄, 山田瑛子, 星名秀行, 谷口裕重, 井上 誠, 高木律男: PEGによる栄養管理を行った口腔癌患者の臨床的検討. 第29回日本口腔腫瘍学会総会学術大会, 熊本, 2011年1月27-28日. 第29回日本口腔腫瘍学会総会学術大会抄録207頁, 2011.

【研究会発表】

- 1) 井上 誠: 米食品はどのように処理されて食べられているのか - 生体計測に基づく基礎的知見 -. 新潟大学超域学術院「未来創成型米研究プロジェクト」, 2012年1月6日
- 2) 辻村恭憲, 辻 光順, 岩田幸一, 井上 誠: ラット上喉頭神経誘発嚥下に対する皮質咀嚼野刺激の変調効果. 第5回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 長野, 2011年12月3-4日
- 3) 中村由紀, 井上 誠, 矢作理花, 北田泰之: ヒト咽頭部への溶液刺激がもたらす嚥下反射誘発能力の個人差が意味するもの. 第5回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 長野, 2011年12月3-4日
- 4) 山田亜紀, 辻村恭憲, 福原孝子, 山村健介, 井上 誠: ウサギ摂食時における開口反射の変調, 第5回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 長野, 2011年12月3-4日
- 5) 下畑享良, 中山秀章, 相澤直孝, 古嶋博司, 谷口裕重, 小澤鉄太郎: 多系統委縮症における睡眠呼吸障害~喉頭内視鏡検査の重要性~. 椿記念新潟神経内科研究会, 新潟, 2011年11月20日.

- 6) 井上 誠：咀嚼のメカニズムと口腔ケアの実践. 摂食嚥下リハビリテーションと栄養ケア, 東京, 2011年11月12日.
- 7) 井上 誠：嚥下障害の臨床・研究に求められるもの. 長崎大学, 2011年9月12日
- 8) 井上 誠：高齢者・障害者の食支援のあり方. 第12回摂食・嚥下機能向上に関する研修会, 国立病院機構新潟病院, 2011年7月15日.
- 13) 谷口裕重：嚥下による事故を防止するための介助方法. 障害者の摂食・嚥下支援研修会, 寺泊, 2011年10月28日.
- 14) 伊藤加代子：病院・施設で実践！ 口腔乾燥がある方への口腔ケア. 口腔ケア・アドバンスコース, 新潟県歯科保健協会, 新潟市, 2011年10月24日.
- 15) 井上 誠：すイエんサー. NHK, 2011年10月11日.
- 16) 辻村恭憲：摂食・嚥下困難者への食支援. 上越テクノセンター, 上越市, 2011年9月8日.

【受賞】

- 1) 矢作 理花, 北田 泰之, 井上 誠：ヒト随意性嚥下に対する味覚刺激の効果. 平成23年度日本味と匂学会論文賞, 第45回日本味と匂学会学術大会, 2011年10月5-7日.
- 2) 児玉泰光, 永田昌毅, 藤田 一, 池田順行, 福田純一, 安島久雄, 山田瑛子, 星名秀行, 谷口裕重, 井上 誠, 高木律男：PEGによる栄養管理を行った口腔癌患者の臨床的検討. 優秀ポスター賞, 第29回日本口腔腫瘍学会総会学術大会, 2011年1月27-28日.
- 17) 井上 誠：「生きる」ことは「食べる」こと. 新潟市創業意識育成促進事業：地元職業人による講演会. 新津第一中学, 2011年9月7日.
- 18) 梶井友佳：摂食・嚥下機能の発達と障害. 新潟県立月ヶ岡養護学校保健研修会, 月ヶ岡, 2011年7月19日.
- 19) 伊藤加代子：新潟大学歯学部公開講座：介護予防のための口腔機能の向上入門講座. 新潟, 2011年7月12日.
- 20) 井上 誠：嚥下障害の実際. 新潟県歯科医師会障害者診療医育成事業. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2011年7月3日.

【その他】

- 1) 伊藤加代子：男女の性差を考慮した歯科医療について. 保健・医療専門職と市民のためのシンポジウム, 新潟大学大学院保健学研究科G S H研究実践センター, 新潟市, 2012年3月3日.
- 2) 辻村恭憲：疾患別にみた摂食・嚥下障害について. 新潟ユニゾンプラザ, 新潟, 2012年2月21日.
- 3) 辻村恭憲：地域で取り組む摂食・嚥下リハビリテーションと食支援. 汐見荘, 村上市, 2011年12月9日.
- 4) 伊藤加代子：口腔ケアについて知ろう！ さつき園, 村上市, 2011年12月8日.
- 5) 伊藤加代子：口腔ケア研修会. NST スーパーニュース, NST, 2011年11月25日.
- 6) 伊藤加代子：口腔ケアの方法について. サンパレス輝, 新潟市, 2011年11月25日.
- 7) 井上 誠：健康で食べられることの大切さを知ろう. 第3回食の国際見本市, 新潟, 2011年11月19日.
- 8) 伊藤加代子：口腔乾燥症について. 中越病院歯科研究会, 長岡市, 2011年11月16日.
- 9) 伊藤加代子：口腔乾燥症と味覚障がい. にいがた市民大学, 新潟市, 2011年11月8日.
- 10) 谷口裕重：口腔ケアを学ぼう～いつまでもおいしく食事をするために～ おもと園研修会, 新潟, 2010年11月4日.
- 11) 井上 誠：健康で食べられることの大切さを知ろう. にいがた市民大学講座, 新潟, 2011年10月31日.
- 12) 谷口裕重：摂食・嚥下リハビリテーションと訪問診療. 名古屋臨床研究会, 名古屋, 2011年10月30日.
- 21) 辻村恭憲：高齢者の摂食・嚥下についての基礎. ワークパル上越, 上越市, 2011年6月4日.
- 22) 伊藤加代子：お口の健康の達人. じょんのび, NHK 新潟, 2011年6月1日.
- 23) 辻村恭憲：高齢者の摂食・嚥下についての基礎. 新潟ユニゾンプラザ, 新潟市, 2011年5月28日.
- 24) 辻村恭憲：高齢者の摂食・嚥下についての基礎. 長岡市立劇場, 長岡市, 2011年5月21日.

歯科麻酔学分野

【著書】

- 1) 瀬尾憲司：AHA ガイドライン2010と歯科医院での救急対処法, 医歯薬出版, 東京, 2011.
- 2) 瀬尾憲司：異常感覚の評価, p105-108, 歯科におけるしびれと痛みの臨床, (分担), クインテッセンス出版, 東京, 2011.
- 3) 照光 真：口腔顔面の末梢神経の画像評価, p113-117, 歯科におけるしびれと痛みの臨床 歯科治療による神経損傷後の感覚神経障害その対応とメカニズム (分担), クインテッセンス出版, 東京, 2011.

【論文】

- 1) Kenji Seo, Makoto Terumistu, Yutaka Tanaka, Tatsuru Tsurumaki, Shigenobu Kurata, Hitoshi Matsuzawa, Ristuo Takagi: Preoperative evaluation of spatial relationship between inferior